

データに基づくまちづくり研修

【合同研修】

～ エビデンスに基づく政策形成・事業評価を学ぶ～

目的	EBPM（証拠に基づく政策形成）の概念やEBPMに基づくKPIの利活用の考え方を学ぶとともに、評価手法や政策形成とのつながりを学ぶ。			
内容	(1) EBPMやKPIの概念と地方自治体での活用方法を学ぶとともに、施策評価、事務事業評価、事業体系との関係を学ぶ。 (2) KPIの設定の仕方、KPIを使った事業改善手法、設定手法をグループ討議などを通じて学び、政策形成能力の向上を目指す。			
実施年月日	令和4年10月11日（火）～12日（水）	定員	42名（市町村職員8名 県職員34名）	
対象者	（市町村） 係長等の職員 （県） 係長級キャリアアップ研修対象者で、受講を希望する職員			
実施場所	大分県自治人材育成センター			
推薦期限	令和4年 8月31日（水）	《第11回》	経費内訳	P138参照
指定ホテル	—	その他留意事項	—	
研修講師 （プロフィール）	<p>【一般社団法人 日本経営協会 専任講師・コンサルタント 細川 甚孝（ほそかわ しげのり）氏】</p> <p>大学卒業後、CIS計画研究所入社。 その後、官公庁の施策立案に関する調査、研究を主とし活動し、総合計画や行政改革、行政評価手法の策定等に尽力する。 その他、官公庁を中心とした地域活性化（農業振興・地域ブランド形成・コミュニティビジネス・観光戦略）や教育、産業振興（教育計画・生涯学習推進計画）なども企画から実際の策定（工程管理含む）を担当するなど、行政運営、地域活性化を専門としたコンサルタントとして活躍。 その間、研修講師としても制度浸透等のために活躍し、現在は政策プランナーとして全国にて各種指導を行っている。 【専門】 政策形成、政策法務、地域活性化、公共マーケティング、施策立案 他</p> <p><input type="checkbox"/>政策プランナー <input type="checkbox"/>早稲田大学パブリックサービス研究所招聘研究員</p>			
受講者の声	<ul style="list-style-type: none"> ・データ分析に基づく政策形成という一見固い内容であったが、軽快な語り口で説明してくれたため、とっつきやすく理解しやすかった。 ・アウトカム、KPI、インプットの意味や使い方を学ぶ事ができた。 ・政策を形成する上での情報源となるRESAS、経済レポート、地域経済循環分析等のツールを学ぶ事ができた。 ・中堅職員全員に必須の内容とおもう。他市町村含めて多くの自治体職員が受講し身に付けたい内容と感じた。 			
備考				

時間割

		9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
		50	20	30					30	
1日目	受付	オリエンテーション	1 時代背景と研修骨子の紹介 2 KPIのあり方	昼食	3 各種業界でのKPIの使い方 4 地方自治体でのKPI利活用の考え方					
2日目	受付	5 地方自治体でのKPI利活用の考え方	昼食	6 演習 7 まとめ				アンケート・閉講		
		45	15						15	30
		9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	

※上記内容は、研修実施時に変更されることがありますので、予めご了承ください。